

令和6年度 甲府市立南西中学校スクールプラン（案）

教育指標
「日 日」に新たに

学校評価による
成果と課題

【学校教育目標】

たくましい心と体をもち 豊かに学び合う生徒の育成
～さわやかな挨拶とマナー、全ての生徒にとって居場所のある学校づくりを通して～

めざす生徒像
○自ら進んで学び 他者から学ぶ生徒
○思い遣る心をもち 共に助け合う生徒
○健康と安全に関心をもち 心と体を鍛える生徒

・生徒の実態、夢と希望
・教師の思い
・保護者の願い
・地域の願い

・山梨県学校教育指導重点
・甲府市学校教育指導重点

南西中のABC

A: 当たり前のことを
B: バカにしないで
C: ちゃんとやる

めざす学校像

○一人一人の学力を保障する学校
○自他を尊重して共に学び合える学校
○家庭や地域と連携し、
子どもの成長をサポートする、**地域とともにある学校**

めざす教師像

○発達途上にある子どもへの敬意を持った教師
○より高い専門性を目指し、学び続ける教師
○人権感覚を持った教師
○組織で取り組む教師（みんなが資源、みんなで支援）

公立学校の**使命**の自覚： 地域にいる全ての子どもを受け入れ、将来の自立に向けた力をつける
公立学校の**強み**を生かした教育活動の展開： 多様性と地域密着性

<学校経営の重点>

- 「生きる力」をはぐくむ適切な教育課程の編成と実施に努める。
- 授業づくりと家庭学習の充実を両輪とし、「確かな学力」を育成する。
- 豊かな心と健全な社会性を育み、温かな人間関係が築かれる集団づくりを推進する。
- 健康、安全に対する高い意識をもち、自他ともに命を大切にする生徒を育成する。
- 学校・家庭・地域が連携し、**地域とともにある学校づくり**を推進する。

具体的な取り組み内容

教育課程の編成と実施

○適切な教育課程の編成と実施
・授業時数の適切な確保
・各行事のバランスよい配置（無理なく、無駄なく）
・PDCAサイクルに基づく評価と見直し、改善
・ワークライフバランスを意識した働き方改革の推進

○キャリア教育の充実
・キャリアパスサポートを活用し成長と課題の自覚
・系統的な進路学習

○特別支援教育の充実
・通級指導教室（サポートルームなど）との効果的連携
・全生徒を対象にした、特別支援的な発想による指導、支援
：子どもの実態を適切に把握し、ニーズに合った指導・支援

確かな学力の育成

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた組織的な授業改善
・基礎基本の確実な定着
・協働的な学びの場の設定
・甲府スタイルの授業実践
・ICTを効果的に活用した授業づくり
・子どもが主体となる授業スタイルの構築（複線型授業・自由進度学習）

○家庭学習の充実と学習習慣の確立
・家庭学習の習慣化
：1人1台端末の有効活用
・メディアコントロールの取組の強化

豊かな心の育成

○体験的・実践的活動を通じた思い遣る心の育成
・声かけ、挨拶運動の推進
・読書活動とボランティア活動の充実
・生き方に関わる講話、講演の実施
・人権教育と「SOSの出し方に関する教育」の推進

○不登校（いじめ）への組織的な対応
・ケース会議の開催と専門機関との連携
・日常的な生徒の実態把握
：友だちアンケート
個別支援カード
気持ちメーター
・校内教育支援センター（ほっとルーム）の効果的運用
：別室指導の組織的運営
・教育相談の充実（相談しやすい雰囲気・関係づくり）

健やかな体の育成

○基本的生活習慣の確立
・家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
・「がん教育」の推進
・食育の推進
・感染防止対策の継続的な実践

○安全管理と危機管理意識の高揚
・実践的訓練の計画的な実施（自ら考え、判断し、行動する）
・訓練実施後のマニュアルの見直し
・地域防災訓練への生徒の参加促進

R5・6
甲府の子どもの教育総合推進校（不登校対策）
・市単教員1名配置
→校内適応指導教室の運営

信頼される学校づくり

○地域とともにある学校づくり
・学校運営協議会による、地域とともにある学校づくり
→地域貢献活動の検討
・学校開放日、授業参観、オープンスクールの実施
・HPなどの活用による情報発信

○小中連携の充実
・五校会による情報連携と行動連携
・児童生徒間の交流
・教職員間の交流
・9年間を見据えた指導

学年・学級経営の充実（居場所づくりと絆づくり）

- 生徒理解
- 学級・学年集団づくり
- 温かな人間関係の構築と深化
- 情報交換と共有
- 保護者や地域との連携
- 授業規律の確立
- 学習習慣の定着
- 各種たよりの発行
- 清掃指導
- 将来なりたい自分探し（キャリア教育）